

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本 事項	計画コード	事業名		部名	生活文化部	
	17059	国民体育大会開催事業		課名	文化スポーツ課 国体推進G	
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		財務 科目	会計	01:一般会計
	基本施策	07:スポーツの推進			款	10:教育費
	施策の方向	04:スポーツ文化の浸透			項	06:保健体育費
戦略プロジェクト	-		目		01:社会体育費	
事業予定期間	H 29 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等				

目的 概要	対象	市民、国民体育大会関係者
	目的	令和3年度に開催される第76回国民体育大会(三重とこわか国体)において、ウエイトリフティング競技及び軟式野球競技が本市で実施決定したことを受け、本大会の開催運営等を通じて、市民がトップレベルのスポーツ競技を身近に感じる機会とし、スポーツに対する意識向上につなげることを目指す。
概要	先催県視察などの情報収集や各競技団体、三重県と連携を図り、令和2年度のプレ大会、令和3年度の本大会の円滑な大会運営を行う。また、大会開催に先立ち、市民の国民体育大会への関心を高め、大会期間中に来場いただく気運を盛り上げるため、さまざまな啓発・広報活動を展開する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画	実行委員会の開催 ・総会、各委員会(常任、専門委員会) 競技会場設営設計業務委託 第74回国民体育大会(茨城県)視察 後催市向け事後説明会出席 広報啓発活動 ・幟・横断幕作成、掲示 ・応援花壇作成啓発 ・啓発イベント実施(ブース出展) ・ホームページ作成	プレ大会開催 (ウエイトリフティング、軟式野球) ・競技実施、会場設営、おもてなし、輸送 運行、警備、係員養成等本大会リハーサル 実行委員会の開催 ・総会、各委員会(常任、専門委員会) 第75回国民体育大会(鹿児島県)視察 後催市向け事後説明会出席 広報啓発活動 ・応援花壇作成啓発 ・啓発イベント実施	本大会開催 (ウエイトリフティング、軟式野球) ・競技実施、会場設営、おもてなし、輸送 運行、警備等実施 実行委員会の開催 ・総会、各委員会(常任、専門委員会)、 解散総会 後催市向け事後説明会開催 広報啓発活動 ・応援花壇作成啓発	
	年度実績	○実行委員会の開催 ・総会、常任委員会、専門委員会 ○競技会場設営設計業務委託 ○第74回国民体育大会(茨城県)視察 ○事業概要説明会出席 ○広報啓発活動 ・啓発用PRブース出店 ・啓発用幟旗作成 ・ホームページ開設、運営			
事業の計画・実績	計画額	事業費	3,900千円	71,400千円	84,400千円
		国庫支出金			1,000千円
		県支出金		32,730千円	49,570千円
		地方債			
		その他		1,000千円	3,000千円
	予算額	事業費	3,900千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	3,900千円		
		国庫支出金			
県支出金					
地方債					
その他					
人件費	総人件費	21,977千円	0千円	0千円	
	一般職員	21,977千円	0千円	0千円	
	所要人員	2.80			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		25,877千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	啓発事業実施回数	活動	計画値 10	10	4
		国体開催に係る啓発につながるブース出展、イベント開催などの事業実施回数	実績値	8		
			単位	回	回	回
	名称	大会期間中の来場者数	成果	計画値	4,000	6,000
			実績値			
			単位		人	人
名称			計画値			
			実績値			
			単位			

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 三重県の事業進捗を見据えながら、繰り返し確認を行うなど、関係機関と綿密な連携、調整を行う。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 グループ内で、繰り返し確認を行うほか、関係機関、団体と綿密に連携を図った。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 実行委員会等の会議を開催するとともに、先催市視察を行うなど、国体および競技別リハーサル大会の開催に向け、計画通り準備を進めることができた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 令和2年の競技別リハーサル大会、令和3年の国体開催に向け、計画通り準備を進めることができた。また、国体開催に向け、大会を盛り上げる意識を高めるため、市内の既存イベント等で啓発活動を行い、2,000名以上の方に、大会開催のPRを行うことができた。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 引き続き綿密な事業進捗管理と県、競技団体等、関係機関との連携、調整を行う必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 繰り返し確認を行うなど、綿密な連携、調整を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 本市で開催する競技別リハーサル大会、国体の円滑な運営を行うことができる。	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 国体推進グループリーダー 佐藤 康二
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小森 達也

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A		
	成果	A	A	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		3,900 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	3,900 千円
	令和2年度への繰越額	千円